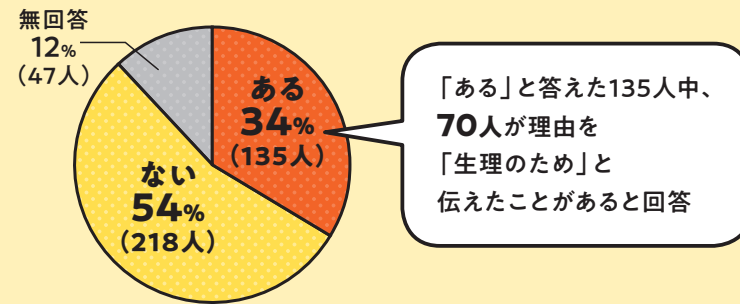


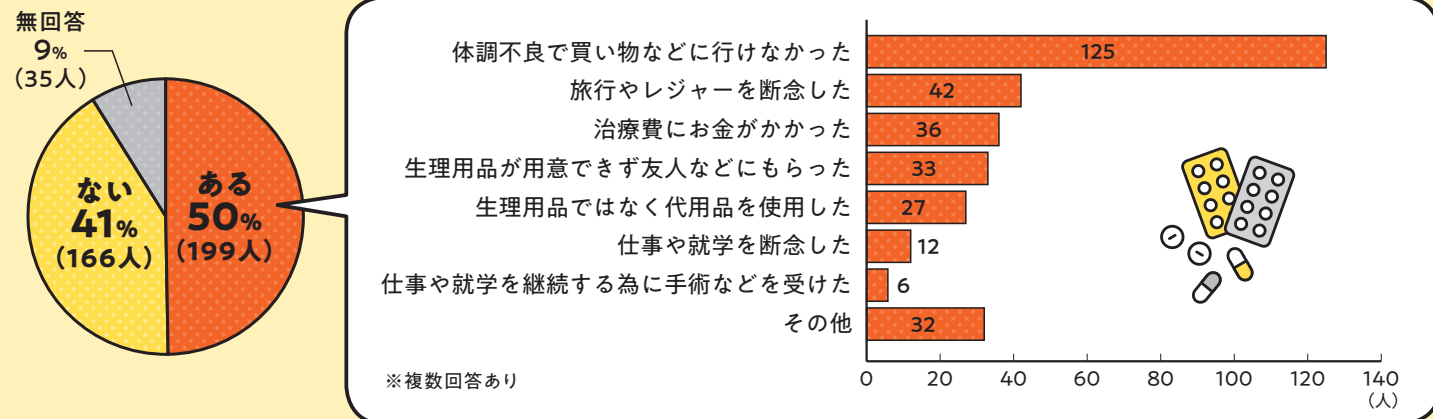
生理のこと 聞いてみました

あんしんつながりステーションへ
訪れた女性400人

「生理」を理由に仕事や学校、授業などを
休んだことはありますか？



「生理」が理由で生活に支障が生じた経験はありますか？



その他の意見

- イライラして日常生活で人と衝突する
- 生理痛がひどいが人に分かってもらえない
- 体調不良で長時間授業を受けられなかった
- 痛みがひどく、薬を飲んでも効かない
- 日常で思うように動けないことがあった
- 座り続ける仕事だと漏れに悩む

2022年4月～

日本の
成人年齢は
18歳に
なります

親の同意無く様々な契約が可能に
● 携帯電話・車の購入 ● クレジットカードの作成 ● エステサロン等ローン契約 など

成人年齢が「未成年者取消権※」が行使できず、契約解除が難しくなります
引き下げられると…

※未成年者が親の同意を得ずに契約した場合、契約を取り消すことができる

18・19歳の人も成年者として自らの責任により契約することが求められます。慎重に考えましょう。

女性の悩みごとと電話相談のご案内

ナ ヤ ム ハ ナ シ
☎ 0120-786874

相談電話 受付
月～土曜日 10時～12時、13時～16時
第1・第3金曜日は、17～20時も相談を受けます。
※但し、毎月最終火曜日、祝日、12月29日～1月3日は休み。

● ホームページ 岐阜市女性センター 検索



新しいレンズで世界を見よう

Lens

家事は料理、洗濯、掃除だけ？

女性が働くことは少子化につながる？

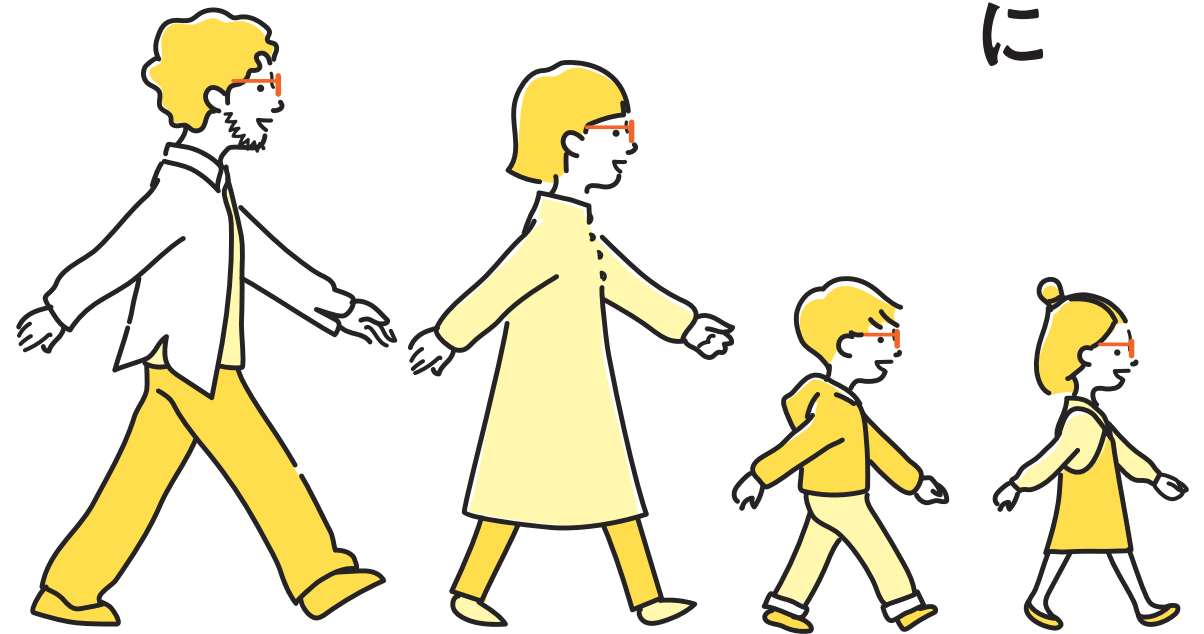
リーダーは男性の方がふさわしい？

育児や介護のためには仕事を諦めるべき？

子どもの性教育、どうする？

それぞれが自分らしく豊かに生きるため、
家族で見つめ直してみませんか。

男らしさ、女らしさではなく
自分らしさを大切に



3つの
keyword

- ☑ 名もなき家事
- ☑ プライベートパーツ
- ☑ ワーク・ライフ・バランス

1 家事育児の負担を分散！ “名もなき家事”をシェアしよう

名もなき家事の多くは女性が負担

1997年、共働き世帯数が専業主婦世帯数を上回り逆転しました。その差は今や2倍以上となりました（内閣府の調査より）。多くの女性が社会で活躍している今、家事を家族で分担する意識はあっても多くは女性が引き受けている状況はあまり変わっていません。

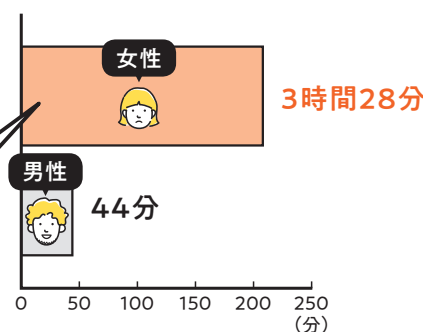
料理、洗濯、掃除…だけじゃない！

名もなき家事はこんなにも

- 洗濯物を畳んで片付ける
- 不要なDM・チラシを捨てる
- トイレトーパーの補充
- シャンプー類の補充
- 衣替えをする
- カーテンの開け閉め
- 食卓を拭く
- 汚れたタオルを取り替える
- 洗った食器を片付ける
- 溜まったゴミを集める
- ゴミを分別する
- ゴミ袋をセットする
- ストック品をチェックする
- マスクや消毒液の残量チェック
- 脱ぎっぱなしの靴の片付け
- 加湿器の水の補充
- 洗濯機のフィルター掃除
- 食事の献立を考える
- おもちゃを片付ける
- 排水口を掃除する
- PTAの活動に参加する
- 町内会の会合に出る
- 小学校のプリントを確認する

あなたのお家の
「名もなき家事」を
書き出してみよう

1日の家事関連時間（2016年総務省調査）



参考：『AERA』共働きの家事育児100タスク表より

2 「おうち性教育」はじめての一步 “プライベートパーツ”

プライベートパーツは命に直接関わる大切な場所

日本の性交同意年齢※は13歳。世界で引き上げが進む中、日本は明治時代に制定されたまま変わっていません（下表）。

現状、学校の性教育には限界があり、正しい知識を得ないまま性行為への好奇心が膨らんでしまうことも。子どもたちを守るために、まずは「プライベートパーツ」の大切さから教えましょう。

※性行為をするかどうか自ら判断できるとみなされる年齢の下限のこと

性交同意年齢の国際比較（2022年現在）

13歳	日本
14歳	ドイツ、台湾
15歳	フランス、スウェーデン
16歳	カナダ、イギリス、フィンランド、韓国



繰り返し教えよう

- 自分のプライベートパーツを勝手に触らせない
- 他人のプライベートパーツを勝手に触らない

家族でも触れない・触れさせない

家族が日常的に子どものプライベートパーツに触れることで「愛情表現」と勘違いしてしまい、思わぬ犯罪被害に巻き込まれる可能性も。

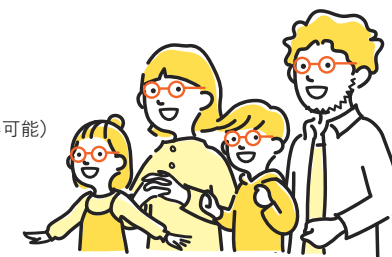
子どもも大人も
心と体を大切にしよう

参考図書：『おうち性教育ははじめます』（フクチマミ、村瀬幸浩 著）より
★岐阜女性センターで貸し出しできます

3 仕事と生活、どちらも大切にする生き方 “ワーク・ライフ・バランス”

男性も育児・介護休業が取れる時代です

育児・介護休業法が改正され、より取得しやすくなりました。（2022年4月～有期雇用契約労働者も取得可能）年齢や性別に関係なく、自分の意欲や能力を活かした人生に挑戦でき、子育てや介護などの時期に自ら働き方を選択できる社会になってきています。



「育児・介護休業法」の適用例

仕事へ出掛けている間、自宅で1人きりの父親が心配。少しでも早く帰ってあげたいな。

➡ 介護のための所定労働時間の短縮措置等を利用

子どもが産まれるけど、男性が育児休業を取っていいの？上司やチームの仲間に迷惑かけないか心配、言い出しにくいな。

➡ 育児休業の制度周知、取得意向を確認する義務
育休取得への働きかけ（2022年4月～）

母親が入退院を繰り返している。自宅では介護がどうしても必要。時々残業もあるけどこの仕事を辞めたくないな。

➡ 介護のための所定外労働の制限を利用

パートナーが夜中の授乳で睡眠不足になり精神的にも体力的にもきつから、支えてあげたいな。

➡ 【男性版産休制度】パートナーが出産後、8週間の間に計4週分の休みを2回に分けて分割して取得可能（2022年10月～）

パートナーと子育てを楽しみたい。男性が休業するとお金が減る？生活できるのかな？

➡ 【育児介護休業法】男女ともに利用可能。1年間（最大2年）国からの給付金有り。

「手伝う」よりも「シェア」する意識で

仕事と家事を両立するには「名もなき家事」を含めたすべての家事育児を共有、見える化し、子どもも含めた家族みんなで話し合うことが必要です。「手伝う」のではなく、まずはみんなで家事を「シェア」しやすい仕組み作りをすることが、家事育児の負担を分散するコツです。

●例えば名もなき家事をシェアするには

シェアしやすい 仕組みを作る

- ストック品の保管場所を分かりやすくする
- 子どもごとのプリント置き場を作る
- 場所ごとに役割分担をする

時短アイテムを 利用する

- 消毒液の残量が分かる容器に変える
- 家事便利グッズを利用
- ラベルを活用して見やすく整理する

家族に 声かけをする

- ルールが変わったら必ず伝える
- 感謝の言葉を言う（完璧を求めない）

お互いに相手を思いやり
コミュニケーションのある
家庭を築きましょう

名もなき家事を含めた全ての家事育児をシェアしよう